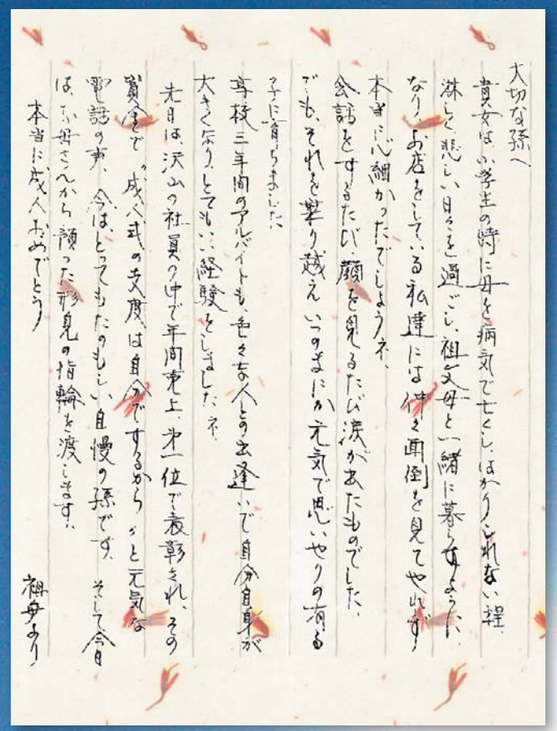
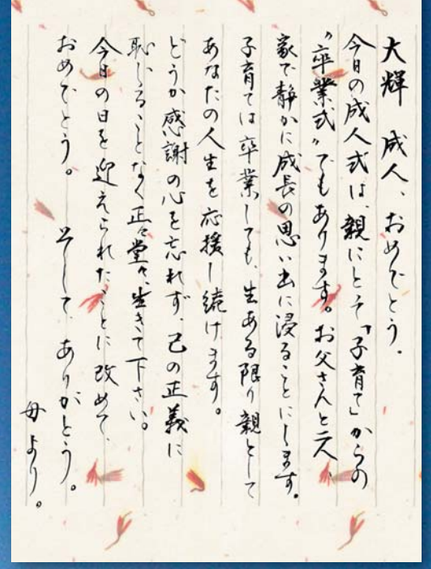
家族からの手紙

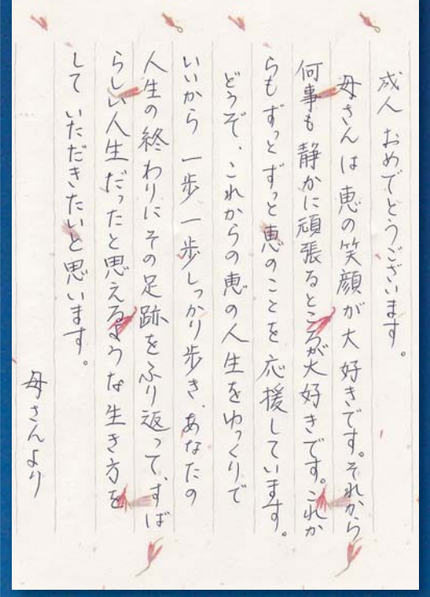
新成人へ向けて書かれた「家族からの手紙」には、二十年分の思いが込められています。成人し、大人になるということは、愛される人から愛する人への転換のときです。その深い思いを忘れずに、次の世代へと受け継ぎ、歩んでいってください。そして皆さんがいつまでも輝き続けることを願っています。



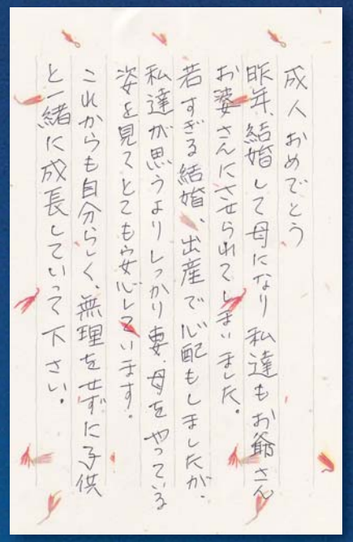
大切な孫へ
貴女はふ学生の時に母を病気で亡くし、ほかりこれない程
淋しく悲しい日々を過ごし、祖父母と一緒に暮らすように
なり、お店をしている私達には何も面倒を見てやれず
本当に心細かったでしょうネ。
会話をするたび涙があふれたものでした。
でも、それを乗り越えいつまでも元気で思いやりの有る
子に育ちました。
高校三年間のアルバイトも、色々な人との出逢いで自分自身が
大きく変わりとても、経験をしましたネ。
先日は、沢山の社員の中で年間売上、第一位で表彰され、その
賞金で「成人式の支度」は自分でするから、と元気な
電話の声。今は、とってもたのもしい、自慢の孫です。そして今日
は、お母さんから預った形見の指輪を渡します。
本当に成人おめでとう
祖母より



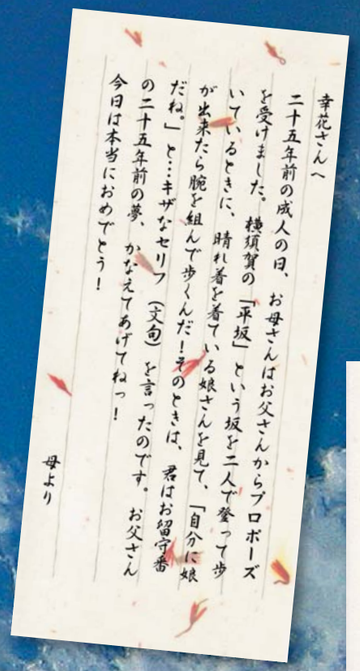
大輝　成人、おめでとう。
今日の成人式は、親にとって「子育て」からの
"卒業式"でもあります。お父さんと二人
家で静かに成長の思い出に浸ることにします。
子育ては卒業しても、生ある限り親として
あなたの人生を応援し続けます。
どうか感謝の心を忘れず、己の正義に
恥じることなく正々堂々生きて下さい。
今日の日を迎えられたことに改めて
おめでとう。　そして、ありがとう。
母より。



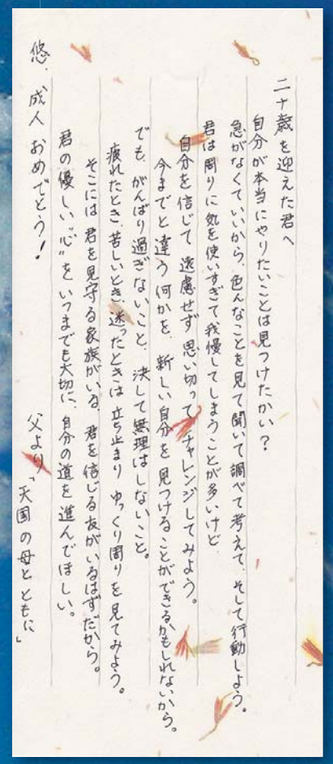
成人おめでとうございます。
母さんは恵の笑顔が大好きです。それから
何事も静かに頑張るところが大好きです。これか
らもずっとずっと恵のことを応援しています。
どうぞ、これからの恵の人生をゆっくりで
いいから一歩一歩しっかり歩き、あなたの
人生の終わりにその足跡をふり返ってすばら
しい人生だったと思えるような生き方を
していただきたいと思います。
母さんより



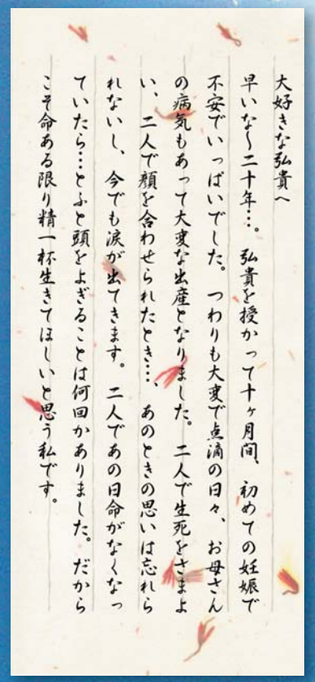
成人おめでとう
昨年、結婚して母になり私達もお爺さん
お婆さんにさせられてしまいました。
若すぎる結婚、出産で心配もしましたが、
私達が思うよりしっかり妻、母をやってる
姿を見てとても安心しています。
これからも自分らしく、無理をせずに子供
と一緒に成長していって下さい。



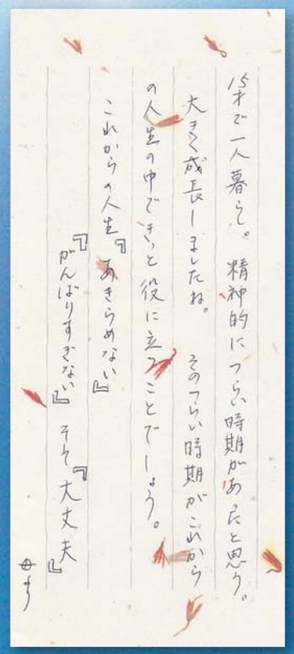
幸花さん へ
二十五年前の成人の日、お母さんはお父さんからプロポーズ
を受けました。横須賀の「平坂」という坂を二人で登って歩
いているときに、晴れ着を着ている娘さんを見て、「自分に娘
が出来たら腕を組んで歩くんだ！」そのときは、君はお留守番
だね。」と…キザなセリフ（文句）を言ったのです。お父さん
の二十五年前の夢、かなえてあげてねっ！
今日は本当におめでとう！
母より



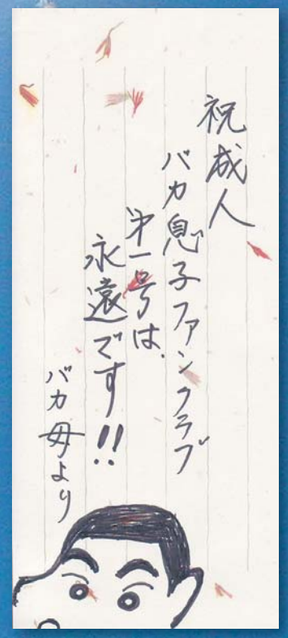
二十歳を迎えた君へ
自分が本当にやりたいことは見つけたかい？
急がなくていいから、色んなことを見て聞いて調べて考えて、そして行動しよう。
君は周りに気を使いすぎて我慢してしまうことが多いけど
自分を信じて　逃げずに　思い切ってチャレンジしてみよう。
今までと違う何かを　新しい自分を見つけることができるかもしれないから。
でも、がんばり過ぎないこと　決して無理はしないこと。
疲れたとき、苦しいとき、迷ったときは　立ち止まり　ゆっくり周りを見てみよう。
そこには　君を見守る家族がいる、君を信じる友がいるはずだから。
君の優しい"心"をいつまでも大切に、自分の道を進んでほしい。
父より　「天国の母とともに」
悠　成人　おめでとう！

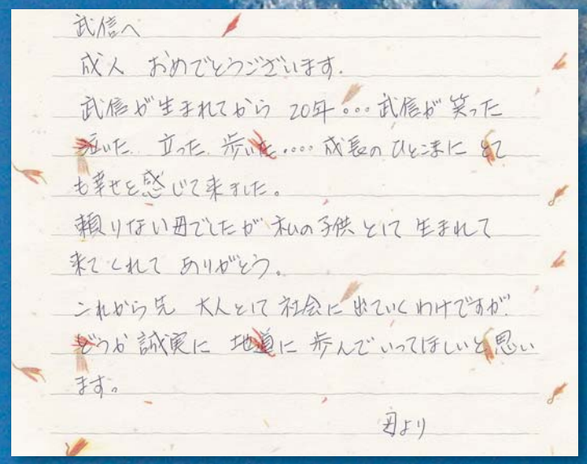


大好きな弘貴へ
早いな～二十年…。弘貴を授かって十ヶ月間、初めての妊娠で
不安でいっぱいでした。つわりも大変で点滴の日々、お母さん
の病気もあって大変な出産となりました。二人で生死をさまよ
い、二人で顔を合わせられたとき…。あのときの思いは忘れら
れないし、今でも涙が出てきます。二人であの日命がなくなっ
ていたら…とふと頭をよぎることは何回かありました。だから
こそ命ある限り精一杯生きてほしいと思う私です。



15才で一人暮らし。精神的につらい時期があったと思う。
大きく成長しましたね。そのつらい時期がこれから
の人生の中できっと役に立つことでしょう。
これからの人生『あきらめない』
『がんばりすぎない』そして『大丈夫』
母より





武信へ
成人　おめでとうございます。
武信が生まれてから　20年…武信が笑った
泣いた　立った　歩いた…成長のひとつひとつに
も幸せを感じて来ました。
頼りない母でしたが　私の子供として生まれて
来てくれて　ありがとう。
これから先　大人として社会に出ていくわけですが
どうか誠実に　地道に　歩んでいってほしいと思い
ます。
母より